

今冬期に、静岡県内で見られた希少な冬鳥、旅鳥たち

三宅 隆

今年の冬期には、例年に比べて、稀な冬鳥・旅鳥、いわゆる珍鳥と称する鳥の確認が多くあった。それらの野鳥の写真を紹介する。



カリガネ 撮影：小泉金次
2021年11月 磐田市
ガン類は冬鳥として飛来するが、静岡県では稀。特にカリガネは極めて稀で、静岡県では2003年以來である。



サンカノゴイ 撮影：三宅飛鳥
2021年11月 静岡市
稀な冬鳥で、今回の観察場所では、2017年以來5年ぶりの確認であった。



ツクシガモ 撮影：三宅 隆
2021年12月 静岡市
稀な冬鳥として飛来する。九州や、西日本ではそこそこ見られるが、静岡県では少ない。



ヤツガシラ 撮影：阿諏訪元成
2022年1月 浜松市
日本では、稀な旅鳥で、静岡県でも少ないが観察されている。2018年以來4年ぶりの確認である。



ヘラサギ 撮影：三宅 隆
2022年1月 浜松市
クロツラヘラサギよりも県内での記録は少なく、2002年以來20年ぶりの確認である。クロツラヘラサギと行動を共にしていた。



クロツラヘラサギ 撮影：三宅飛鳥
2022年1月 浜松市
稀な冬鳥で、静岡県では2014年以來8年ぶりの確認である。

※ヘラサギ類の識別：クロツラヘラサギは眼の前が黒く嘴まで繋がり、ヘラサギは黄色で繋がらない。